

快晴のもと「羅臼岳地質・植物観察会」開催

博物館講座の地質・植物観察会が6月27日に羅臼岳で開催されました。今年の6月の知床は晴天が続いていますが、この日も早朝から晴れ上がり、絶好の登山日和となりました。岩尾別温泉の登山口までのバス中でテキストをもとに事前学習。羅臼岳は「活火山」であり、わずか700～800年前にも活動していたとの話に驚いた参加者も多かったようです。6時50分木下小屋から登山開始。クルマバソウやオオタチツボスミレなど混交林の林床に咲く花を楽しみながら高度をかせぎます。オホーツク展望ではエゾノキリンソウなど岩場の植物のほかハイマツも出てきます。低標高からハイマツなど高山植物が見られる知床の植物の垂直分布について内田学芸員が解説。ここでは約500万年前の海底火山活動でできた集塊岩も顔を出しています。この古い時代のイワウベツ川層は知床半島の基盤です。弥三吉水ではイワウベツ川層の上に載った新しい時代の火砕流堆積物が見られます。美味しい水はこの層を通して流れてくるとの合地学芸員の説明がありました。



登山開始

極楽平ではウコンウツギやゴゼンタチバナが咲いており、コルリやクロジの美しいさえずりを聞くことができました。



羅臼平で一服

大沢はまだ雪渓に埋まっており、真夏のような強い日光の照り返しの中、羅臼平へ。大沢の出口付近からエゾノツガザクラやチングルマのお花畑が始まります。羅臼平ではメアカンフスマやメアカンキンバイ、キバナシャクナゲの花が美しく咲いていました。



コメバツガザクラ

ここから参加者は二手に分かれ、地質観察グループは羅臼岳山頂へ、植物観察グループは

三ツ峰へと向かいました。羅臼山頂では溶岩ドームのでき方を観察。北は硫黄山から南は海別岳までの知床連山の様子はもちろん、お隣の国後島の火山、爺爺岳もよく見えました。三ツ峰コースではイワウメやイワヒゲ、ハクサンチドリやチシマノキンバイソウ、ウスバスミレなど沢山の花を満喫しました。

帰りは青いオホーツク海を見ながら大沢の雪渓を一気に滑り降りたり、林間でコマドリやキビタキのさえずりを楽しみながら、あっという間に登山口へ。天候にも花にも恵まれた丸一日の観察会でした。(中川元)



雪渓を滑り降りる

・次回ロビー展は「知床の昆虫展」

開催期間は7/24土～8/24火です

近年採集昆虫と過去80年代に斜里高等学校生物部で採集した標本その他、公開していない標本を展示します。今回は生きた昆虫（水に棲む昆虫・草原の昆虫・アリなど）の展示もします。

※ロビー展のみの観覧は無料です

～事務局より～

今回は会費を納入いただいた方に会員証を同封しました。博物館に来る際は会員証を持参下さい。窓口で提示いただくと入館料が無料になります。

発行 斜里町立知床博物館協力会 2004.6.30
099-4113
北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館内
TEL:01522-3-1256/FAX: 3-1257
<http://www5.ocn.ne.jp/~museumsp/>